

2. 調査経過について

3. 調査期間 1962年5月26日～6月27日 53日間

調査費目 マグロ延縄による漁況調査、海洋調査、魚体調査、マグロ、カジキ類の胃内容物調査、プランクトン調査

調査海域 ヒリノビン諸島東方海域及びセレベス海北部海域

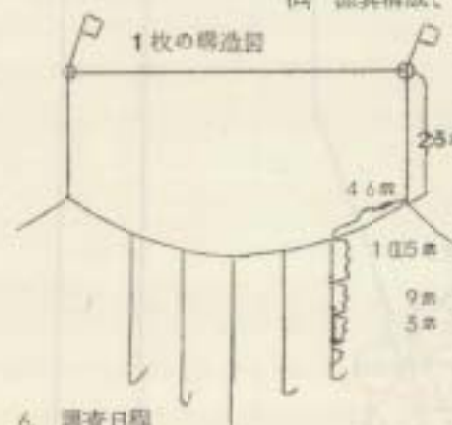
4. 使用船舶及乗組員 (印) 國博丸(159311.....400HP)

(同) 中村船長外21名(臨時乗員4名、研修生1名を含む)

調査員 上地、新垣、奥平

5. 漁具数及漁具構成 (印) 3:0枚

(同) 漁具構成(下記及下表の通り)



名称	材質	規格	数量
網目	綿糸	8~9号	46m×6本
枝縄	〃	〃	10.5m×5本
浮子縄	〃	8号	25m×1本
セイヤマ	鋼線	2.7号×3×3	9m×5本
釣りワイヤ	〃	〃	5m×5本
針鉤	鋼鉄	3.6寸	5個
サルカン	真鍮	10号	5個
ビン玉	ガラス製	9寸	1本
セゲン竹	真竹	直径 1~1.5寸	1本

6. 調査日程

1962年5月26日 13h-35m 那覇港三重城岸壁発着場に向

5月31日～6月23日 延縄16回実施

6月25日 04h-45m 帰途に就く

6月27日 06h-30m 泊港帰港

7. 調査の航路、漁場

第1図に示す通りで、漁場は便宜上操業順に1,2,3,4.....の数字を附した。

8. 漁況資料

(1) 操業一覧表……今回のマグロ延縄は第1図に示す漁場に於て16回に亘り操業、調査実施した。この結果を表にすると第1表の通りである。

(2) 釣獲率……操業順位別の釣獲率を示せば第2表の通りである。

(3) 各枝別漁獲状況……第3表の通り

(4) 魚体測定表……第4表の通り

9. 海況、気象調査資料

(1) 水温、塩分……漁場に於て毎日1回水深200mまでの垂直的测温、採水を実施して水温及び塩分の結果を第5表に示した。

(2) プランクトン……プランクトンの表参照

(3) 気象及びその他……今回の出港より帰港までの期間を通じ毎日4時間毎、夜は随時に気象、表面水温、塩分等について観測した結果を第6表に示した。